

令和3年度第3回富士市市民協働推進審議会会議録(概要)

1. 日 時 令和4年3月16日(水) 午後2時～午後3時
2. 場 所 Zoom、消防防災庁舎3階作戦指令室兼会議室
3. 出席者 委員(敬称略)
今屋敷正成、勝亦徳明、佐野智恵子、高木敦子、長岡路子、中山勝、
渡辺美恵子、遠藤卯美、大村教人、加藤直子
富士市
市民協働課長他職員3名

4. 概要

- 協働事業提案制度申請提案及び市民活動支援補助金応募事業について
令和3年度申請分の予算状況について、審議会の場で報告をした。

- 事務局説明・委員意見・質疑

<市民協働事業提案制度及び市民活動支援補助金制度の見直しについて>

- 一旦この内容で進めていったらどうか。
- 富士市がどのような姿であるのが望ましいか等、目指すべき方向が申請書類に記載されているとありがたい。
- 富士市民活動センターでは希望があれば申請書類の書き方等のアドバイスを行っているため、事務局が案内してもらえれば対応は可能。
- ヒアリング時に資料が足りなかったということがあった。
→専門部会員以外の方にも分かりやすい資料の作成や説明を行いたく思う。
- 評価基準を明確に分かりやすく設定することは大事だと感じる。
- 利用者は少ないが社会的意義があり福祉的な意味合いのある事業については、多くの人の力や繋がりが必要となる。こういったボランティアも交えながら住みやすさを一緒に模索できるようなチャレンジができるとよいと感じる。

<市民協働事業提案制度の募集要領について>

- 「関連する活動」に関しては相談に乗ってもらえる余地はあるか。
→事務局や事業担当課で申請前にヒアリングを行い、その中で相談に応じる。
- 応募する方々に対する心得が担当者の変更で変わらないようにしてもらいたい。
→了解した。
- 一テーマに複数の応募があるような、より門戸を広げるやり方も必要に感じる。
- 「設立後1年以上であること。」が「団体の設立後1年以上であること。」になることでどう変わるのか。
→提案に関わる全ての方が1つの団体として1年以上活動しているということを知りやすくするために変更した。
- 「主に富士市民のため」「主に富士市のため」等といった文章を検討してもらいたい。
→選定基準等に記載されている事項により当然富士市民に利益をもたらすものとなっている。但し、100パーセント富士市民のためというのは難しいため、ゆとりを持たせ、最終的に富士市のためになればよいと考える。誤解を与えないような要領を作成したい。